

令和5年度 愛媛大学
高等学校教諭一種（情報）免許法認定通信教育
実施要項



愛媛大学免許法認定通信教育事務局

令和5年度 愛媛大学 高等学校教諭一種（情報） 免許法認定通信教育 実施要項

1. 目的

本通信教育は教育職員免許法の規定に基づき、現職教職員が新たに高等学校教諭一種免許状（情報）を取得するための機会を提供し、必要な単位を修得させるとともに、現職教員の資質向上を図ることを目的とします。

※本通信教育は単位修得のみを目的としています。

※免許状の取得には、本通信教育とは別に行政手続きが必要です。

※免許状の取得に必要な単位数等については、受講申込み前に所属の教育委員会の教員免許状担当部署にご自身でお問い合わせください。

2. 開講期間

令和5年10月13日（金）～令和6年2月3日（土）

3. 実施機関

愛媛大学教育学部

4. 受講対象者

高等学校教諭専修免許状または一種免許状を有しているもので、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得を希望する者。

5. 開講科目と単位数

高等学校教諭専修免許状または一種免許状を有する者が、高等学校教諭一種免許状（情報）を取得する場合、24単位が必要です。本学では、令和5年度はそのうちの18単位分（11科目）を開講・実施します。

詳しい開講科目の概要・講師については別紙1をご確認ください。

科目名	単位
(1) ヒューマンインタフェース（実習を含む）	1
(2) プログラミング言語Ⅱ（演習・実習含む。）	2
(3) 情報社会・情報倫理	2
(4) 情報システム概論	2
(5) 情報と職業	2
(6) 情報通信ネットワーク論（実習を含む）	2
(7) 情報通信システム概論（実習を含む）	1
(8) マルチメディア技術	1
(9) マルチメディア概論（実習を含む）	1
(10) 情報科教育法Ⅰ	2
(11) 情報科教育法Ⅱ	2

6. 受講方法

本認定通信教育では、愛媛大学が独自に開発した遠隔学習支援システム「志（こころざし）」及びビデオミーティングシステム Zoom[®]を用います。各自インターネット接続が可能な、キーボードとカメラが搭載された端末（パソコン推奨）をご準備ください。

授業でプログラミング等を扱うことがありますので、小さなスマートフォンの画面やキーボードがないタブレット端末などでは作業が難しくなります。そのためパソコンの使用を強く推奨します。

詳細については、**別紙2**をご確認ください。

① 「志」に登録し
動画を視聴する



② Zoom[®]で同期型授業、および
最終試験を受ける（本人確認のため）

7. オンライン・ガイダンス、リアルタイム遠隔授業、および最終試験について

- オンライン・ガイダンスは、全受講者対象となっております。
- リアルタイム遠隔授業、および最終試験は、科目ごとに実施回数、実施日時が決まっておりますので、お申し込みの前に必ず出席可能か、**別紙3**をご確認ください。
- 当日の Zoom[®]のミーティング ID やパスワードについては、遠隔学習支援システム「志」の当該科目「講座お知らせ」欄等に掲載しご案内いたします。
- オンライン・ガイダンス、リアルタイム遠隔授業、および最終試験では、Zoom[®]で接続の上、出欠の確認を行います。必ず事前にお使いのパソコンで Zoom[®]へログインをし、ミーティングへご参加可能であること、正常に作動することをご確認ください。

8. 受講料（テキスト代別）

システム利用料	科目受講料
5,000 円	1 科目につき 5,000 円

例：3 科目を受講した場合

→システム利用料 5,000 円 + 5,000 円 × 3 科目 = 20,000 円

9. 受講出願から履修開始までの流れ

(1) 準備物について

- ご自身の顔写真付きの身分証明書（運転免許証、マイナンバーカードなど）
- 学校勤務の方は所属長の承認 **別紙様式1**（受講承諾書）
それ以外の方は届出 **別紙様式2**（申込時届出）
※ 別紙様式1または2のいずれか1通を必ず提出のこと
- メールアドレス
容量の大きな添付ファイルの受信が可能なメールアドレスを推奨します。
事務局からメールでご連絡する場合がありますので、随時、ご確認ください。

(2) 受講出願から履修開始までの流れ (随時ホームページのお知らせ等をご確認ください)

<p>Step 1 Web 出願提出</p>	<p>■出願内容の入力・必要書類のアップロード</p> <p>愛媛大学免許法認定通信教育ホームページ-入学案内-Web 出願から、受講されるコースを選択の上、必須入力項目の入力、選択、必要書類のアップロードをしてお申し込みください。</p> <p><u>各科目、申込期限より前でも、定員に達し次第、締め切らせていただきますので、早めに出願手続き完了までをお済ませください。</u></p> <p>申込期限 <u>令和5年10月2日(月)午前8:00</u></p> <p>※申込期限後、履修開始まで約2～3週間の期間がかかります。</p> <p>※Step1のWeb出願の時点では、出願手続きは未完了。</p> <p>Step4の事務局にて「受講料」の入金が確認でき次第、出願手続き完了です。</p> <p>※本通信教育はオンデマンド型のため、開講日からの受講ではなくてもすべての内容の受講が可能です。</p> <p>※Web出願完了後、自動返信メールが登録のメールアドレスに送信されます。</p> <p><u>出願内容(氏名・電話番号・メールアドレス・受講希望科目・科目数・受講料・現住所)について必ずご確認ください。</u></p> <p>※Web出願の内容に変更が生じた場合、再出願受付期間内であれば再出願が可能です。</p> <p>再出願受付期間 <u>Web出願より2日間(休日含む)</u></p> <p>ただし、再出願受付期間内であっても、10月2日(月)午前8:00を過ぎた出願はできません。</p> <p><u>再出願時は備考欄に、①再出願であること、②初回のweb出願後の自動返信メールに記載されている「識別コード」を記載してください。</u>再出願された場合には、既に出願した内容は取消し扱いとなります。</p> <p>また、申込期限を過ぎての受付・申込変更・取消しは致しかねます。</p>
<p>Step 2 「振込依頼書」の確認</p>	<p>■振込依頼書(はがき型)の受取・「ご請求金額」等の内容確認</p> <p>Web出願申込期限後、コンビニエンスストア決済用「振込依頼書(はがき型)」の発行手続きを行い、登録されたご住所に郵便にて送付いたします。</p> <p>出願手続き完了後の各種変更や追加、取消及びそれに伴う<u>返金手続きは致しかねます。</u>必ず振込依頼書に記載されている「ご請求金額」と、お申し込みをいただいた科目数の合計受講料が一致していることをご確認ください。内容に誤りがあった場合や、ご不明な点がある場合は、<u>お振込をされる前に事務局までメールにてお問い合わせください。</u></p> <p>振込依頼書には「支払期限」が設定されており、期限を過ぎると使用できません。振込依頼書の再発行依頼を受付けますので、事務局までメールにてお問い合わせください。その際、再発行手数料が必要となります。</p>

<p style="text-align: center;">Step 3 受講料のお振込</p>	<p>■お振込・払込受領証（お客様用）の保管</p> <p>「振込依頼書」を使用し、コンビニエンスストアにてお振込ください。</p> <p><u>振込期限</u>：はがきに記載されている振込期限をご確認ください。</p> <p>受講料のお振込についての証明書等の発行は事務局では致しかねますので、払込受領証（お客様用）は、大切に保管してください。振込完了の通知はいたしません。</p>
<p style="text-align: center;">Step 4 手続き完了</p>	<p>■手続き完了</p> <p>事務局にて「受講料」の入金が確認できた方には、「受講決定通知書」がご登録のメールアドレスに送信されます。受講科目に間違いがないかをご確認ください。ご提出の書類に不備等がない方は、これで出願手続き完了となります。<u>提出書類・内容に不備等がある方は、事務局よりご連絡させていただきます。</u></p> <p>※受講料をお振込後、<u>事務局で入金確認ができるまで数日程度かかります。</u></p>
<p style="text-align: center;">Step 5 「志」へのログイン</p>	<p>■「志」の UserID・Password の受取・受講に向けての準備</p> <p>遠隔学習支援システム「志」へログインするための「UserID・Password」が、受講料振込完了から1週間程度でご登録のメールアドレスに送信されます。受講料振込完了から1週間経過してもメールが届かない場合は、お手数ですが事務局までメールでご連絡ください。</p> <p>「UserID・Password」を受け取られましたら、受講に向けての準備として、「志」へのログインをお試ください。</p> <p>「志」へログインができましたら、顔認証のためにご自身の顔画像を登録し、事務局の承認をお待ち下さい。登録された顔画像の承認は、事務局が<u>平日の11時頃</u>に行います。顔画像の登録を実施されたデバイス（複数登録可）で受講は可能ですが、顔認証の精度を上げるため、できる限り同じ環境下での受講を心掛けてください。</p>



履修開始

(3) 受講中の顔認証について

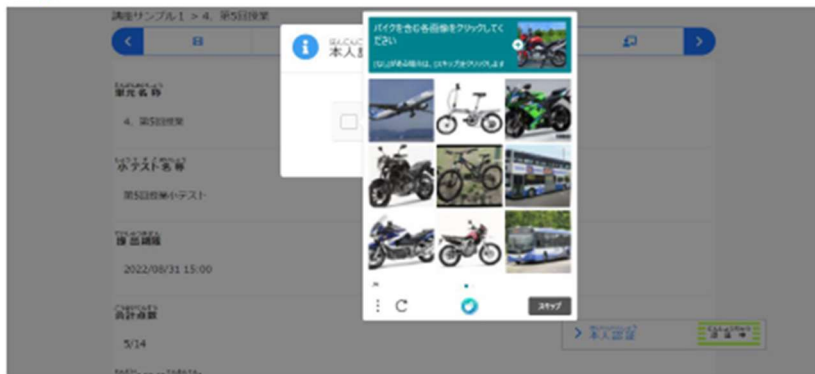
- **別紙2**を併せてご確認ください。
- 本認定通信教育では、本人確認をするために、遠隔学習支援システム「志」で動画視聴中、操作時、ほかランダムに顔認証を行っております。これは、文部科学省から、出席（動画視聴等）やレポートの提出が本人により行われていることを確実に確認するように指導を受けているためです。そのため、リアルタイム遠隔授業および最終試験は、ビデオミーティングシステム（Zoom[®]等）を使って事務局が本人確認を実施しながら行いますので、ご了承ください。
- 「志」では動画視聴中に、画面右下に顔認証の状況が表示されます。必ずカメラが接続され、オンになっているかをご確認ください。カメラがオンになっているにも関わらず『本人認証NG』が表示された場合、画面右下の「本人認証」から受講中断をし、正しく認証されるために正面を向いて受講再開をしてください。顔認証がNGとなったままで受講している場合、成績評価時に本人が受講していると認

められない場合がございますので、ご注意ください。

- 顔認証で複数回 NG が出た場合など、CAPTCHA 認証（画像・音声・文字入力の 3 種類）が表示されることがあります。CAPTCHA 認証が受講中に画面に表示された場合はご対応ください。なお、表示される CAPTCHA 認証はアクセシビリティ設定で変更可能です。ご自身が答えにくいと思われる認証方法は、あらかじめアクセシビリティ設定でチェックを外してください。

CAPTCHA 認証を変更した場合

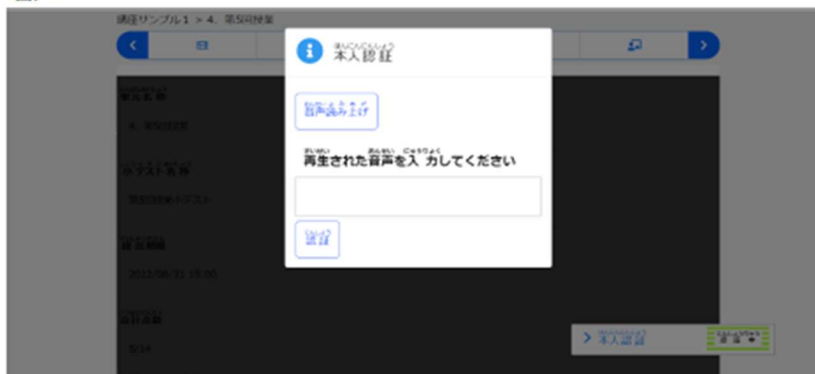
画像



文字



音声



(4) 成績審査の方法

成績審査は、①課題（確認テスト、レポート等）の提出、②リアルタイム遠隔授業での課題の提出、③最終試験の結果の3点を総合して審査します。

- 最終試験の受験資格（こちらを満たしていない場合には、受験いただいても原則審査しません。）
 - ・ 動画の視聴期限までに、「志」上の受講科目の動画を原則 80%以上 視聴していること。
 - ・ 課題（確認テスト、レポートなど）を 全て提出 していること。
- 総合的に審査した結果、合格した方に「単位修得証明書（学力に関する証明書）」を発行します。書類は令和6年3月に送付予定です。
- 「単位修得証明書（学力に関する証明書）」の先行発行は致しかねます。

10. 免許状の取得について

免許状を取得するには、「単位修得証明書（学力に関する証明書）」を所属の教育委員会にご自身で提出する必要があります。免許状の取得申請については、受講前に所属の教育委員会の教員免許状担当部署にご自身でご確認ください。

11. その他

- (1) 人権を侵害する行為（例：ハラスメント）、試験等における不正行為・論文やレポート等の作成における学問的倫理に反する行為（例：剽窃行為）、教育研究等の業務を妨害する行為（例：授業妨害）等は、愛媛大学学生懲戒処分規定に準ずる形で対処いたします。
- (2) 受講期間中、やむを得ず通信教育を辞退する場合には、必ず **別紙様式 3** の受講辞退届を記入し、辞退届受理期限内に「12. お問い合わせ先」の愛媛大学免許法認定通信教育事務局まで メールにて ご提出ください。辞退される場合（受講科目間違い等の辞退も含む）、受講料の返還はいたしません。

辞退届受理期限：令和6年1月26日（金）

- (3) 提出された個人情報、本通信教育に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。
- (4) 事務局の休業について
土曜日・日曜日・祝日
冬期休業：令和5年12月28日（木）～令和6年1月3日（水）

12. お問い合わせ先

愛媛大学免許法認定通信教育事務局

メールアドレス： eu.nintei@gmail.com

ホームページ： <https://ninteikoshu.ed.ehime-u.ac.jp/>

※ お問い合わせの前に、FAQ（よくある質問）をご確認ください。

開講後も随時更新します。

※ それ以外の質問は受講者専用お問い合わせフォームをご利用ください。



令和 5 年度 愛媛大学 高等学校教諭一種（情報）免許法認定通信教育
開設科目及び担当講師一覧・テキスト

免許状の種類 (領域)	免許法施行規則に定める科目 区分等		開設科目名	授与 単位	期間	募集人 数
	科目	各科目に含める必要事 項	中心となる領域 ----- 含む領域			
高一種免 (情報)	教科	コンピュータ・情報処 理 (実習を含む。)	ヒューマンインタフェース (実 習を含む) (R5 認定通信)	1	令和 5 年 10 月 13 日 ～ 令和 6 年 2 月 3 日	50 名
高一種免 (情報)	教科	コンピュータ・情報処 理 (実習を含む。)	プログラミング言語Ⅱ (演習・ 実習含む。) (R5 認定通信)	2	令和 5 年 10 月 13 日 ～ 令和 6 年 2 月 3 日	50 名
高一種免 (情報)	教科	情報社会・情報倫理	○情報社会・情報倫理 (R5 認定通信)	2	令和 5 年 10 月 13 日 ～ 令和 6 年 2 月 3 日	50 名
高一種免 (情報)	教科	情報システム (実習を含む。)	○情報システム概論 (R5 認定通信)	2	令和 5 年 10 月 13 日 ～ 令和 6 年 2 月 3 日	50 名
高一種免 (情報)	教科	情報と職業	○情報と職業 (R5 認定通信)	2	令和 5 年 10 月 13 日 ～ 令和 6 年 2 月 3 日	50 名
高一種免 (情報)	教科	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	情報通信ネットワーク論 (実習 を含む) (R5 認定通信)	2	令和 5 年 10 月 13 日 ～ 令和 6 年 2 月 3 日	50 名
高一種免 (情報)	教科	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	○情報通信システム概論 (実習 を含む) (R5 認定通信)	1	令和 5 年 10 月 13 日 ～ 令和 6 年 2 月 3 日	50 名

免許状の種類 (領域)	免許法施行規則に定める科目 区分等		開設科目名	授与 単位	期間	募集人 数
	科目	各科目に含める必要事 項	中心となる領域 ----- 含む領域			
高一種免 (情報)	教科	マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	マルチメディア技術 (R5 認定通信)	1	令和5年 10月13日 ～ 令和6年 2月3日	50名
高一種免 (情報)	教科	マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	○マルチメディア概論(実習を 含む) (R5 認定通信)	1	令和5年 10月13日 ～ 令和6年 2月3日	50名
高一種免 (情報)	教職	各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含 む。)	情報科教育法1 (R5 認定通信)	2	令和5年 10月13日 ～ 令和6年 2月3日	50名
高一種免 (情報)	教職	各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含 む。)	情報科教育法2 (R5 認定通信)	2	令和5年 10月13日 ～ 令和6年 2月3日	50名

科目名の前に「○」がついている科目は、法的基準（施行規則に定める科目区分等）の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。

科目概要と担当講師一覧

No.	開設科目	科目の概要	講師
1	ヒューマンインタフェース (実習を含む)	人間と情報機械,情報機械を介した人間と人間のインタラクションを円滑にし,コミュニケーションを支援することがヒューマンインタフェースの主要な目的である。本授業では,この目的を達成する過程でのインタラクションに焦点を当て,情報システムとしての人間特性,インタラクションとしてのコンピュータの基礎を概説するとともに,先進的インタフェースについて紹介する。	山田 貴志 香川大学教育学部 教授
2	プログラミング言語Ⅱ (演習・実習含む。)	プログラミング言語Ⅰでプログラミングの基礎を学んだ人を主な対象に,次の段階を目指す。プログラミングは「ものづくり」に分類され,基礎を知っているだけではプログラミング教育に従事できない。この科目では,アプリケーションの開発を通して,プログラミングによって役に立つものを作り,身のまわりのソフトウェアがどのように作られるのか学ぶ。必要なプログラミング技術を理解し,用途によってプログラム言語以外の様々な情報通信技術の知識も密接に関わることを経験する。	河村 泰之 愛媛大学教育学部 准教授
3	情報社会・情報倫理	今後の情報社会を生きる高校生に必要な知識や心構えを身につけさせるために必要なことを確認する。そのためにも基本的な情報技術(特にネットワークやセキュリティ)への理解が求められる。具体的には「情報社会に関する法律とその概要」「情報社会で守るべき法と倫理,その違い」「情報通信技術を用いる利便性と危険性のトレードオフ」などを理解し,高等学校情報の教員としての授業実践力を身につける。	河村 泰之 愛媛大学教育学部 准教授
4	情報システム概論	情報システムを構成しているハードウェア及びソフトウェアの基本的な役割や動作を学習する。具体的には,コンピュータの構成,2進数,16進数,文字コード,パリティチェック,サンプリング,量子化,符号化,データの圧縮,論理回路の基礎,組み込みシステム,プログラミング,システム工学,などについて紹介する。また,知識の習得だけでなく,シミュレーション等を通して実際の動作を確認し学ぶ。	今井 慎一 東京学芸大学教育学部 准教授 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 准教授

5	情報と職業	<p>情報化により生活や社会がどう変わり,どのような職業が出現したかを考える。具体的には「情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響」「望ましい情報社会の発展」「情報社会の将来と情報産業」などを考察することで,情報技術が実社会でどのように使われており,情報関連の職種にはどのようなものがあるかを知ることで,高等学校情報の教員としての授業実践力および生徒への進路指導等を行なえる能力を身につけることを目的としている。</p>	<p>大西 義浩 愛媛大学教育学部 教授</p>
6	<p>情報通信ネットワーク論 (実習を含む)</p>	<p>高等学校の「情報」における「情報の科学的な理解」に必要な情報通信ネットワークについて学習する。特に,情報通信ネットワークにおける通信方法およびセキュリティ対策に関して学習を行う。身近にある通信機器がどのように通信を行っているかを理解する。また,情報ネットワークを実践的に活用するために必要な基本的な知識および技術を修得する。</p>	<p>相良 宗臣 高知大学教育学部 講師</p>
7	<p>情報通信システム概論 (実習を含む)</p>	<p>情報通信システムの基礎として,IP アドレスの仕組みや,ネットワークデバイスの役割について学ぶ。具体的には,サブネットワーク化の仕組みや,代表的なネットワークデバイスであるルータの基礎的な設定方法などについて演習を通して身につける。</p> <p><u>※学習内容をより理解いただくために,科目6「情報通信ネットワーク論」を受講後に,本科目を受講されることを推奨します。</u></p>	<p>徳田 誠 弓削商船高等専門学校 情報工学科 准教授</p>
8	マルチメディア技術	<p>本講義は,高校専門教科「情報」の各科目において習得した知識とプログラミング技術を互いに連携づけながら初歩的なマルチメディアを活用した作品の制作を行う。この制作において,従前に各科目で習得した知識とプログラミング技術を生かしてマルチメディア技術の特性を生かした作品を制作し,これを通じて情報の基礎的知識やプログラミング技術の体得を目指す。更には,本講義を通して実際の「情報」授業に活用できる能力や態度を涵養する。</p>	<p>宮崎 英一 香川大学教育学部 教授 香川大学大学教育基盤センター数理・遠隔教育部部長</p>

9	マルチメディア概論 (実習を含む)	文字,静止画,動画,音声などさまざまなメディアの特性を踏まえて,効果的に活用することができるような方法や技術などを学ぶ。さらに,複数のメディアを組み合わせた活用方法を考察する。	田房 友典 弓削商船高等専門学校 情報工学科 教授
10	情報科教育法 1	この科目では,まず教科「情報」の目標と内容について確認し,その内容を教えるためにどのような情報通信技術が必要かについても確認する。教員として,その内容を教える立場になったとき,背景の情報科学や数学などを理解している必要があるため,それらの知識についても確認する。次に,それらを踏まえ,具体的な授業を想定した学習指導案を作成する。また,発展的な学習内容について探求し,それらを高校の授業でどのように取り上げるか議論する。	河村 泰之 愛媛大学教育学部 准教授 長松 正康 広島大学大学院人間社会 科学研究科 教授
11	情報科教育法 2	この科目では,教科「情報」の目的・内容・方法・評価等に関する基礎的な知識を身につけ,高等学校における情報教育の位置づけについて考察する。受講生はそのためにもまず教科の目標を確認し,学習指導案と照らし合わせ要点を確認する。その後,実際の高校生に対する授業を想定し,模擬授業を行う(動画を提出の予定)。必要と思われる教材についての開発も検討する。評価についての考え方も確認し,学習評価の方法も考慮する必要がある。また,他者の模擬授業について意見を述べるなど,授業改善の視点を身につける。	河村 泰之 愛媛大学教育学部 准教授

テキスト

本年度開講の各講座でテキストを使用する場合は,「志」の講座お知らせページ等でご案内をさせていただきます。オンライン書店での購入をお勧めします。本事務局では,販売の取次は致しません。

1. 「志」について

「志」とは、安心・安全に教育の質を保った授業を継続していくため、講義型やディスカッションを伴う授業など、通常対面で行う授業についても遠隔で実施ができる遠隔学習支援システムです。生体認証機能等を搭載し、本人確認をセキュアに行いつつ、学習コンテンツ（動画等）を遠隔地（自宅・病院等）に配信します。

また既存の大規模オンライン学習支援システムにはない、教育のバリアフリー化の実践のために必要な、障害特性に対応したアクセシビリティ機能（情報保障含む）を有します。

2. Zoom[®]について

Zoom[®]とは、ビデオやマイクを接続し、インターネットを通じて同時に複数人と対面で会話することができるビデオミーティングシステムです。Zoom[®]については同社ホームページ (<https://zoom.us>) をご確認ください。

3. 受講環境について

受講にはインターネット接続が可能な、キーボードとカメラが搭載された端末が必要です。授業でプログラミング等を扱うことがありますので、小さなスマートフォンの画面やキーボードがないタブレット端末などでは作業が難しくなります。そのためパソコンの使用を強く推奨します。

（受講にあたって複数のデバイスで顔画像を登録し、それぞれの端末から受講することは可能です。）

※ 科目2「プログラミング言語Ⅱ」は、パソコン、もしくは、surfaceなどのキーボード付きのタブレットPCをご準備ください。

※ 科目7「情報通信システム概論」は、授業で特定のアプリを使用するため、iPadなどのタブレット端末ではご受講いただけません。パソコン（windows, apple, chromeなど）をご準備ください。

・ウェブカメラ（内蔵カメラ含む） ・キーボード ・マイク

・推奨ブラウザ

Microsoft Edge(Chromium) : 92

Safari macOS : 12.0

Safari iOS : 13.0

Google Chrome : 92

・推奨 OS

Windows : 8.1 - 10

MacOS : 10.13 High Sierra | 11.0 Big Sur

Android : 9-11

iOS : 13 - 14.7

・通信速度は 20Mbps 以上を推奨しております。

※上記以降のバージョンでも問題なく動作すると思われませんが、もし動作上の問題が生じた場合は、事務局までメールにてご連絡ください。

別紙3

◆オンライン・ガイダンス日程

全科目共通

	科目名	日時
ガイダンス	ヒューマンインタフェース プログラミング言語Ⅱ 情報社会・情報倫理 情報システム概論 情報と職業 情報通信ネットワーク論 情報通信システム概論 マルチメディア技術 マルチメディア概論 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ	11月7日(火) 18:30~19:30

◆リアルタイム遠隔授業日程

※科目により回数と時間が異なります。該当科目については全て出席が必要です。

科目 番号	科目名	日時
1	ヒューマンインタフェース	11月11日(土) 9:00~13:00
2	プログラミング言語Ⅱ	1回目 12月10日(日) 9:00~13:00 2回目 1月28日(日) 9:00~13:00
3	情報社会・情報倫理	1回目 12月9日(土) 9:00~13:00 2回目 1月20日(土) 9:00~13:00
4	情報システム概論	1回目 11月25日(土) 14:00~18:00 2回目 1月21日(日) 14:00~18:00
5	情報と職業	1回目 11月25日(土) 9:00~13:00 2回目 1月21日(日) 9:00~13:00
6	情報通信ネットワーク論	1回目 11月18日(土) 9:00~13:00 2回目 12月17日(日) 9:00~13:00
7	情報通信システム概論	11月11日(土) 14:00~18:00
8	マルチメディア技術	1回目 12月7日(木) 18:00~20:00 2回目 1月18日(木) 18:00~20:00
9	マルチメディア概論	1回目 12月18日(月) 18:00~20:00 2回目 1月17日(水) 18:00~20:00
10	情報科教育法Ⅰ	1回目 11月5日(日) 14:00~18:00 2回目 12月2日(土) 14:00~18:00
11	情報科教育法Ⅱ	1回目 12月9日(土) 14:00~18:00 2回目 1月20日(土) 14:00~18:00

◆最終試験日程

科目 番号	科目名	日時（令和6年）
1	ヒューマンインタフェース	2月3日(土) 13:00~15:00
2	プログラミング言語Ⅱ	2月3日(土) 10:00~11:45
3	情報社会・情報倫理	2月3日(土) 13:00~15:00
4	情報システム概論	
5	情報と職業	
6	情報通信ネットワーク論	
7	情報通信システム概論	
8	マルチメディア技術	
9	マルチメディア概論	
10	情報科教育法Ⅰ	
11	情報科教育法Ⅱ	

複数科目の最終試験が同じ日時に設定されておりますが、複数科目を履修される方は、履修されるすべての科目について受験していただけるように配慮いたします。

最終試験の実施用法については、「志」上でお知らせします。

愛媛大学 高等学校教諭一種（情報）免許法認定通信教育 受講承諾書

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ 印

(※本人自書により印鑑省略可)

所属校名 _____

勤務先電話番号 (_____ - _____)

愛媛大学高等学校教諭一種（情報）免許法認定通信教育を受講することを承認します。

所属校名

校長氏名

職印

愛媛大学 高等学校教諭一種（情報）免許法認定通信教育 申込時届出

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 印

(※本人自署により印鑑省略可)

在職期間 年 か月間

(年 月 日から

年 月 日まで)

所属の教育委員会名

所属の教育委員会電話番号

(_____)

愛媛大学高等学校教諭一種（情報）免許法認定通信教育を受講するにあたり，在職期間と所属の教育委員会名を届出します。

愛媛大学 高等学校教諭一種（情報）免許法認定通信教育 受講辞退届

受理期限：令和6年1月26日（金）

期限までに受理されるように事務局へご提出ください。

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ 印

(※本人自書により印鑑省略可)

志ID _____

所属校名 _____

勤務先電話番号 (_____ - _____ - _____)

辞退される科目 いずれか該当する方の□を塗りつぶしてしてください。

全科目

一部科目

1 受講科目名 全科目・一部科目いずれの場合も、すべて記載してください。

2 辞退理由

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

所属校名 _____

校長氏名 _____

職印 _____